節酒の歌
古堅宗雄作

一二揚

サ　キヌ　ム　ル　ヒ　ト　ヌ

四　中　工七　五『工　五　四　老　四　合　中　工七　五

ヨ　シア　シ　ヤ　ン　チ　ド

合　工　合　工　五七八　五　工　上　四　五七四

サキヌユ　シ　ア　シ　ヌ　ジチヤシ　ユ　ル

合　四　工　合　中　工　五　合　老　四　合老四

サ　アン　ヤラ　ヤ　ヒ　アン　ヤン　テ　ヤ

四　中　工七　五『工　五　四　中七　五『工　五　四　中　工七

五『工　五　四

一、酒飲むる人ぬ　良し悪しや見ちど、
酒の良し悪ぬ実や知ゆる
サーあんやらやひーあんやんてやー
宮古民謡師範の古堅宗雄、作詞作曲
http://www.geocities.jp/kimurasei/
の？番に音声あり
酒依存症や嗜好品の依存症に陥る人には、教訓歌になりましょう。

二、酒飲まや哀り　肝心狂りて、
世間物笑れぬ　恥ゆ曝ち
サー大事なもんやさ、うぬ酒小や

三、酒に飲まりば　わが宿ん忘して
道ばたに寝んて、露にんでて
サー夜ながた妻子心配ゆしみて

四、酒飲まぬ家庭や　くばがしぬかかて
妻子や泣けち、負債（うっか）作て
サーりんち　たんち、山散らかちな

五、慎みぬありば　飲む酒ん　美らさ
うりさ物　語い　笑い福い
サーちちしみ第一美ら酒飲みよー